

科目名	音楽 I D					単位	2.0
担当教員	大山 絵美						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	7238

●授業のテーマ

保育の現場で必要となるピアノ演奏の基礎技術を習得する

●到達目標

ピアノの学習経験のない者は、『バイエル』を課題とし、60番程度まで終了することを目指す。『バイエル』程度終了以上の学習経験を有する者は、個人の能力に応じた教則本や、子どもの歌弾き歌いを課題とし、保育現場で余裕を持って、ピアノで音楽を表現できるようにする。

●学習内容(授業概要)

ピアノ演奏に関しては、授業開始時点で、技術や表現力が大きく異なっている。そのため一人ひとりに合わせた課題設定や計画が必要となる。したがって、オリエンテーションで、各自のピアノの学習経験を調査し、練習する曲を決定する。

ピアノの学習経験のない者は、『バイエル』を課題とし、60番程度まで終了できるように授業を進める。『バイエル』程度終了以上の学習経験を有する者は、『ブルグミュラー25の練習曲』等の教則本に並行して、保育の現場で歌われている曲の弾き歌いなど、個人の能力に応じた教材を課題とする。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション①（ピアノ学習経験についての調査、練習室の使用等）
2. オリエンテーション②（レッスン時間割の調整、課題の相談等）

※以下、学習経験のない者。学習経験のある者については、個人の能力に応じて、個別に対応していく。

- 『バイエル』を両手（同じ動き）で弾けるようにする
- 3. 『バイエル』で、両手で違う動きできるようにする
- 4. 『バイエル』で、和音、ポルタメントを弾けるようにする
- 5. 『バイエル』で、左手が細かく動けるようにする
- 6. 『バイエル』で、タイが弾けるようにする
- 7. 『バイエル』で、Gを起点とする曲が弾けるようにする
- 8. 『バイエル』で、八分音符を弾けるようにする
- 9. 『バイエル』で、八分音符を四分音符の間に入れて弾けるようにする
- 10. 『バイエル』で、八分音符の細かい動きができるようにする
- 11. 『バイエル』で、ポジションをスムーズに移動できるようにする
- 12. 『バイエル』で、左手の伴奏形を小さい音で弾けるようにする
- 13. 前回までの確認。発表会の曲を決める（全員）
- 14. 発表会で弾く曲を仕上げる
- 15. 授業発表会（全員の前で演奏する）

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：授業で弾く曲をよく練習しておくこと

事後学習：授業で指摘されたことをしっかりと直すこと

特に、自宅にピアノを所有していない学生は、学内の練習室を、空き時間を有効に活用し、日々の練習を欠かさずに行うこと

●成績評価方法・基準

授業発表会 35%、授業及びピアノ学習への取り組み（よく練習しているか、曲の進み具合など） 65%

●テキスト（必携）

初心者は『バイエル』を購入すること。経験者は、各学生の進度に応じて個別に指示するので、担当教員の指示があるまで買わなくてよい（各教則本は、すでに所有している者は改めて買う必要はない。出版社名は問わない）

≪No.1.≫書籍名：『標準バイエルピアノ教則本』、著者名：フェルディナント・バイエル、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協、備考：初心者、バイエル未終了者

≪No.2.≫書籍名：『ブルグミュラー25 の練習曲』、著者名：ヨハン・フリードリッヒ・フランツ・ブルクミュラー、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協、備考：バイエル終了程度の者

≪No.3.≫書籍名：『ソナチネ・アルバム』、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協、備考：ブルグミュラー終了程度の者

●参考文献／その他

特になし

●履修上の注意

予習及び復習を怠らないこと